

石巻健育会病院 武山裕美子(師長)

功 績 100歳代終末期患者さんのご家族ケアについて、諦めきれないご家族に対して思いをくみとり尊重し、面会制限の中で何度も看護の取り組みを報告し、ご家族の電話や来院の機会に丁寧に対応、ファミリーファーストを実践した。患者さんにはKOMIケアの実践による質の高いサービスを、ご家族には納得いく最期を迎えていただくために安心感をご提供することができ、その結果、ご家族から感謝のお言葉を地元新聞紙面に掲載いただき、病院の知名度向上に努めた功績。

推 薦 者 庄司 正枝

推 薦 理 由 諦めきれないご家族の不安や思いを受け止め、患者さんの「残された力」にアプローチした看護の取り組みを武山師長中心に実践しました。面会が制限される中、その様子はしっかりとそして丁寧にご家族に伝えていただきました。武山師長の取り組む姿勢がメンバーにも大きく影響し、病棟全体で統一した家族ケア、ファミリーファーストが実践できました。新聞にも感謝のお言葉を掲載していただき、理念達成に一步近づけました。病棟やチームをまとめ、このような結果に至った武山師長の組織貢献度及び功績は非常に大きく、よって理事長賞に推薦致します。

内 容

患者は100歳代、今年2月、特別養護老人ホームより、食欲不振・誤嚥性肺炎の疑いで入院した。食べやすいアイスを提供したり、環境調整するなど患者さんの状態に応じたケアに取り組んだが状態は改善されなかった。医師より、超高齢でもあり食物を受け付けないのは年齢的に自然の経過であることを説明され、DNARに同意した。しかし、ご家族は同意したものの「言い聞かせれば食べられるようになるのでは」と諦めきれない様子だった。さらに新型コロナウイルス感染症の予防対策として面会を制限したことから、直接患者さんの様子を伺うことができなくなったご家族は不安を募らせた。

患者さんに残された貴重な時間を大事にし共有したいと考え、KOMIチャートシステムで患者さんの「残された力」に着目した。「聴覚」「快・不快」に焦点を当て、ご家族の協力のもと好きな音楽を流したり、家族写真を飾ったり、最大限の看護サービスを提供した。その様子を、不安を抱えるご家族に電話や来院の機会にお伝えした。制限のある入院生活ではあったが、だからこそファミリーファーストを心得、丁寧に対応した。状態悪化時には面会時間を設定するなど柔軟に対応し最期の時間を共有していただいた。5月中旬に永眠され、その際にも感謝のお言葉をいただいた。

病棟師長が先頭に立ち、メンバーとチームをまとめ、率先して丁寧なケアとファミリーファーストを実践した結果、ご家族が安心して納得いく最期をお看取りすることができた。後日ご家族から感謝のお言葉を地元新聞にも掲載していただいた。